



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



12月号

令和3年度

12月1日(水)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

カメムシの話

校長 乙津 秀敏

師走となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には先月の檜小コンサートをはじめ展覧会等に多くの方にお越しいただきまして誠にありがとうございました。令和3年最後の月となりましたが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月はカメムシの話です。学校では先月上旬をピークに至るところでカメムシを見かけました。廊下、教室、トイレ、体育館とありとあらゆるところにたくさんのカメムシが這い回っていました。毎年この時期に見られる“いつもの光景”です。このカメムシ、ゆっくりと這い回っているだけなのでスズメバチやムカデのように危険性は感じないのですが、とにかく数が多すぎるためについっかり踏んでしまったり何かをぶつけてしまったりすることがあるのです。そうすると結果として例の嫌な匂いが発せられるため、我々人間はしばらくの間我慢するしかなくなるのです……。皆さんのご家庭でも悩まされたのではないのでしょうか？

実は今年度カメムシを話題にした児童向けの本を購入したということなので、この機会に早速図書室に向かい読んでみました。ある小学校で実際にあったお話のようで、楽しく読ませてもらいました。そのお話では、カメムシにはたくさんの種類があり、全校の児童が協力して次から次へといろいろなカメムシを発見し図鑑を作るまでになるのです。それまではただの“嫌な虫”にすぎなかったものが最後は“宝物”に見えてくるという内容です。私も今までに何種類か違うタイプのカメムシを見たことがあったので、良い機会だと思い、カメラを持って学校の周りをぐるっと歩いてみました。するとわずか20分程度の中に3種類のカメムシを発見しました。中にはこんなかわいいハート型の模様があるものもありました。恐らくこれはエサキモンキツノカメムシというカメムシでしょう。カメムシも実は奥が深いです。また、カメムシは一般的に人間からは嫌がられる存在です。でも、益虫といえるものもいるようです。害虫を補食し農家の味方となるハナカメムシ類です。そして絶滅危惧種であり、私も子供の頃以来最近では見たこともないタガメもカメムシの仲間だそうです。驚きました。見た目や思い込みで判断せずきちんと向き合ってみることが新しい気付きや物事の本質に迫ることに繋がるということを改めて思いました。



さて学校は家庭や地域と共に児童を育てていく場です。日々子供たちと一定のリズムで接しているとどうしても同じような見方で見てしまうことがあります。これはご家庭でも同様でしょう。でも子供たちの世界は我々大人とは別の世界が存在します。成長途上の子供たちが織りなす世界ですので大人が思う以上に複雑なことも多いです。そこで何かあったときはまず冷静に観察する。見た目で判断したり子供の話をお話に鵜呑みにするのではなく、学校と家庭の双方が連携して分析していくことが大切となります。これを怠ると例えば「学校に行きたくない」という言葉や、元気がなく塞いでいる姿の裏にある本当の原因にたどりつくことができません。子供たちは一人一人個性をもち唯一無二の存在です。親子であっても別の人格をもった存在ですから、保護者の思い通りには動かず、全く違う考えをもっているかも知れないということを押さえる必要があります。これは年齢が上がるにつれ顕著になっていきます。親子のコミュニケーションの充実や学校以外の場における友人関係の構築等が大きく影響することもあります。2学期の最終月となる今月はこのような点から今一度子供たちを見つめてみてください。そして今月は個人面談、保護者会があります。これを機会にぜひ担任とコミュニケーションを図り今後の子供たちの成長へと繋げていってほしいと思います。

前述の本によるとカメムシにはまだまだいろいろな種類がいるらしいです。今までは嫌なものでしかなかったカメムシですが、これからは新種発見を目指してみようかとも思っています。皆さんいかがでしょうか……。

12月の生活目標

学校をきれいにしよう

学校では、12月に限らず毎学期末に普通の掃除では手が回らないような所まで念入りに掃除をしようと取り組んでいます。少ない人数でも効率よく協力して一生懸命掃除をしている姿が見られます。掃除を何となくではなく、自分から汚れている所を見つけて、学校をきれいにするための時間だと理解できているからこそ、このような行動ができるのだと思います。

これからも子供たちが、目的意識をもって行動できるように取り組んでいきます。そして、きれいな学校で気持ちよく生活できるようにしていきたいと思います。



生活指導部 新藤 智美

檜小コンサート（音楽発表会）

11月4日（木）5校時に、3～6年生が出演する「檜小コンサート」が体育館で行われました。このような状況下で音楽活動も制限がありますが、二学期に入ってからできることをコツコツと練習を重ねてきました。どうしても上手に演奏できずに苦しんだり、友達と息が合わずにずれてしまったりすることもたくさんありましたが、最後の最後まで諦めずにたくさん練習していました。

本番では練習の成果を発揮して、一人一人が真剣な表情で息を合わせて自分たちの音楽を奏でることができました。保護者の方からたくさんの拍手をいただいて、嬉しそうな様子が印象的でした。感想では「友達が頑張っているのを見て、自分も頑張ろうと思った」「最後まであきらめずに頑張ったので、良い演奏ができた」と成長した様子が見られました。

お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。これからも児童と一緒に音楽を楽しみながら子供たちの豊かな心を育てていきたいと思いますので、応援よろしくお願いたします。



授業参観・保護者会

先日、お知らせさせていただきました通り、授業参観・保護者会を以下の日時に行います。ご多用のことと存じますが、ご来校くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時 12月7日（火）1・2・3年生
12月2日（木）4・5・6年生

授業参観 午後1時35分～

学級懇談会 午後2時30分～

2. 場所 授業・保護者会 各教室

3. その他

- ・駐車場は総合グラウンドをご利用ください。
- ・来校証、うわばきをご持参ください。
- ・当日、発熱や風邪症状等がある場合は、ご来校を控えていただきますようよろしくお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。その際は、配信メールにて連絡いたします。

地域芸能鑑賞会

11月8日（月）に地域芸能鑑賞会が行われました。

今年度は、人里獅子舞保存会の方々から獅子舞の歴史や意味について教わりました。今後も子供たちが檜原村について知り、檜原村を好きになることができるよう教育活動を進めていきたいと思ひます。



地域芸能鑑賞会担当
小林 忍

夢・未来プロジェクト

11月9日（火）に夢・未来プロジェクトを実施しました。夢・未来プロジェクトは、オリンピック・パラリンピック教育の一環で、子供たちが障害者について、理解を深めたり、ボランティア・マインドを醸成したりする取組です。今回は、東京オリンピック・パラリンピック、ブラインドサッカー日本代表キャプテンの川村 怜選手を講師として招きました。子供たちは、実際にブラインドサッカーを体験し、視覚障害者の気持ちを理解したり、講師の話から、努力することの大切さについて学んだりすることができました。

